

# コース概要

## 呼吸器内科専攻コース

### 【プログラムの目的と特色】

内科医としての総合的な診療を基礎に、より専門的に呼吸器・感染症・腫瘍内科の診療技術を習得することを目的とします。

当科の専門医・指導医が後期2年次には日本内科学会内科認定医の取得、その後3年次に日本呼吸器学会・気管支学会専門医の取得ができるように指導します。

### 後期1年次

新規患者外来や夜間救急患者を当科指導医と担当し、救急を通じ総合的内科診療を引き続き経験します。呼吸器中心に入院患者の担当主治医となり、診断と治療計画、患者への病状説明が適切にできるよう指導します。豊富な入院症例を通じて基本的な検査(XP, CT)の読影や手技(胸腔ドレナージ、NIPPV、気管支鏡等)を指導医から学びます。

呼吸器内科カンファレンス(1回/週)呼吸器内科・外科・放射線科合同カンファレンス(1回/月)院内CPC(年5回)に参加し発表を経験し、検討会での症例提示が適切にできるようします。

当院開催の緩和ケア研修会や学会主催の臨床呼吸機能研修会は必修としています。

### 後期2年次

基本的には1年次と同じですが、呼吸器の基本的な手技が介助なしで行え、COPD・気管支喘息の専門治療の患者指導や肺癌患者の化学治療・分子標的治療・放射線治療・緩和治療を適切に行えるようにする。

経験した症例をまとめ、考察する機会として地方会で症例報告を行い、論文としてまとめる。

日本内科学会認定医資格を取る。

### 後期3年次

専門外来を週1回担当することで、他科とのコンサルテーションに対応できるようになる。

初期研修医や後期レジデントの指導を行い、チーム医療の技術をつける。

学会や研究会に参加し呼吸器疾患の最新の情報を得ることで、呼吸器専門医への準備を行う。



### 【週間スケジュール】

	午前	午後	夕方
月	外来	病棟、回診	
火	病棟	病棟	
水	抄読会、病棟	気管支鏡、外来化学治療	呼吸器カンファレンス
木	病棟	病棟	
金	外来	外来	

# コース概要

## 【平成22年度検査・診療実績】

### 2010年度 新規入院患者実績

肺癌135名、肺炎74名、間質性肺炎43名、COPD22名、気管支喘息19名、気胸16名

### 2010年度 治療・検査実績

気管支鏡162件、全身化学治療のべ件数(入院540件、外来192件)、在宅酸素療法55件、喘息・COPD教育入院6件、NIPPV導入8件

## 【指導医】

医師名	役職	医師資格取得年	所属学会・資格等	専門領域
竹澤祐一	部長	昭 53	奈良県立医科大学臨床教授、医学博士、日本医師会認定産業医、日本内科学会(評議員)総合内科専門医、指導医、認定制度教育病院責任者、日本呼吸器学会(代議員)呼吸器専門医・指導医、日本アレルギー学会、日本感染症学会、日本肺癌学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本緩和医療学会	呼吸器一般 アレルギー 緩和治療
杉村裕子	医長	昭 62	日本内科学会 総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会 呼吸器専門医、日本感染症学会 ICD、日本結核病学会	呼吸器一般 感染対策
小林真也	腫瘍内科医長	平 9	日本内科学会 総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会 呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会 専門医、がん認定機構 がん治療認定医、日本プライマリケア学会 専門医、日本臨床腫瘍学会、日本肺癌学会、日本癌治療学会、日本緩和医療学会	呼吸器一般 腫瘍内科
伊藤武文	医員	平 12	医学博士、日本内科学会 総合内科認定医、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本循環器学会	呼吸器一般
長 敬翁	医員	平 18	日本内科学会、日本呼吸器学会、日本肺癌学会	呼吸器一般

## 【取得可能な認定医・専門医】

日本内科学会内科認定医

日本呼吸器学会専門医

日本気管支学会専門医

## 【学会認定・施設】

日本内科学会認定医制度教育病院

日本呼吸器学会認定施設